

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
22205	病理学 Pathology	久永直見	○	共通	2	必修	2後期

**科目の概要**

栄養士にとって重要な疾病に重点を置いて、それらの疾病がどのように発生して、悪化してゆくのか、どのように栄養を摂れば、疾病の発生を予防したり、悪化を防いだりすることができるかを講義する。  
 ★産業医学を専門とする医師として、勤労者の健康管理に従事してきた経験から、生活習慣病を中心に疾病の発症メカニズム、臓器の病的変化、栄養面を含む予防対策につき講義をする。

学修内容	到達目標
① 栄養士にとって重要な疾病の原因や症状を理解する。 ② どのように栄養を摂れば、疾病の発生予防と悪化の防止に役立つかを理解する。	① 栄養士にとって重要な疾病の原因や症状を説明できる。 ② どのように栄養を摂れば、疾病の発生予防と悪化の防止に役立つかを説明できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 授業に能動的に参加し、教員と学生との相互の質疑により、双方向での授業を進めることができる。
	働きかけ力 小グループ討論において他者への働きかけをすることができる。
	実行力 毎回実施する小テストのための復習をすることができる。
考え抜く力	課題発見力 授業を通して栄養に関する課題を見つけることができる。
	計画力 小テストのための学習時間を、計画的に確保することができる。
	創造力 教員の出すヒントをもとに自分の考えを創り出すことができる。
チームで働く力	発信力 教員からの質問への的確な回答を、ほかの学生も理解できるように述べることができる。
	傾聴力 講義内容を丁寧に聞き取り理解できるようになる。
	柔軟性 小グループ討論において異なる意見を理解できるようになる。
	状況把握力 小グループ討論において論議の状況を把握することができる。
	規律性 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行できるようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力 授業に伴うストレスに、計画的学習でコーピングを行うことができる。

**テキスト及び参考文献**

- ①参考文献 「テキスト健康科学」改訂第2版 佐藤祐造ほか編（南江堂） 2808円（税込み）
- ②毎回の講義にて教材資料を配布する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連： 生理学、解剖学、解剖生理学実験、生化学、公衆衛生学などが関連する。  
 資格との関連： 栄養士

学修上の助言	受講生とのルール
栄養士という職業の専門性に関わる科目である。専門用語が多く難しいと感じることが多いだろうが、学修の成果は将来必ず役に立つものであり、積極的に知識を積み上げて欲しい。	毎回の授業後、復習し、次回の授業の冒頭に行う小テストにて、達成度を確認する。 講義資料を事前に配布するので、それを予習して、授業に出席する。 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行できるようルールを守ることができる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学 期 末 試 験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習した内容の理解度を、穴埋め問題と論述式問題とを併用して評価する。</li> <li>・筆記試験と小テストの結果を合わせて、次の到達レベルをもって評価の基準とする。</li> <li>疾病の成因、症状、診断、治療方法に関する質問の90%以上に正しく解答できる。・・・S</li> <li>同じく80～89%に正しく解答できる。・・・A</li> <li>同じく70～79%に正しく解答できる。・・・B</li> <li>同じく60～69%に正しく解答できる。・・・C</li> <li>Cのレベルに達していない。・・・F</li> </ul>	
				②	✓		
	平 常 評 価	小テスト	40	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の要点の理解・記憶を、毎回の授業の冒頭に小テスト（穴埋め問題10問）を実施して評価する。</li> </ul>
				②	✓		
平 常 評 価	レポ ー ト	0	①				
			②				
平 常 評 価	成 果 発 表 （ プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 作 品 制 作 等）	0	①				
			②				
学 修 行 動	社 会 人 基 礎 力 （ 学 修 態 度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>（主体性）</li> <li>・将来、栄養士になって社会に貢献するために、積極的に学ぶことができるようになる。</li> <li>（実行力）</li> <li>計画的に学習し、知識を蓄積することができる。</li> <li>（課題発見力）</li> <li>授業を通して疾病の予防における栄養学的課題を発見することができる。</li> <li>（創造力）</li> <li>授業を通して疾病の予防に関する自分の考えを創り出すことができる。</li> <li>（傾聴力）</li> <li>授業に集中し、内容を理解し、要点を記録することができる。</li> <li>（発信力）</li> <li>教員からの質問に対し、的確に、他の受講者にも分かるように解答することができる。</li> <li>（規律性）</li> <li>遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。</li> <li>（ストレスコントロール力）</li> <li>授業に伴うストレスに対し、計画的学習によりコーピングすることができる。</li> </ul>		
			②	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) の基準： 授業で取り上げた疾病の原因、病態、診断、栄養との関わりを説明することができる。</p> <p>A (優) の基準： 授業で取り上げた疾病の原因、病態、栄養との関わりを説明することができる。</p>	<p>B (良) の基準： 授業で取り上げた疾病の原因、栄養との関わりを説明することができる。</p> <p>C (可) の基準： 授業で取り上げた疾病の栄養との関わりを説明することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	日本における疾病罹患状況と一次・二次・三次予防対策について学ぶ。	講義	小テストで正答率60%以上。	予習： 疾病予防に何が必要か、列挙しておく。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
2	栄養と疾病との関わりについて学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第2週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
3	細胞と組織の病的変化、とくに炎症、免疫、変性、腫瘍について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第3週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	ビタミンの欠乏症と過剰症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第4週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
5	ミネラルの欠乏症と過剰症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第5週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
6	糖尿病について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第6週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 柔軟性 規律性
7	先天性代謝異常について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第7週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
8	脂質異常症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第8週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	高尿酸血症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第9週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
10	循環器疾患、とくに高血圧について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第10週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
11	消化器疾患、とくに胃十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、潰瘍性大腸炎について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第11週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
12	肝臓・胆嚢・膵臓の疾患、とくに肝炎、胆石症、膵炎について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第12週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
13	ウイルス、細菌、真菌による感染症について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第13週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
14	脳血管疾患、とくに脳出血、脳梗塞について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第14週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、小テストで解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
15	神経疾患、とくに認知症、パーキンソン病について学ぶ。	講義と小テストによる評価とその結果の通知	小テストで正答率60%以上。	予習： 第15週用の授業資料を読む。 復習： 授業中に示された重要事項について、定期試験で解答できるようにする。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力